NPO法人写楽の会・四国大学主催

SHARAKU

東洲斎写楽 浮世絵【全作品・復刻版】展

四国大学 デジ絵コン
～全国高校生塗り絵コンテスト～
優秀作品展

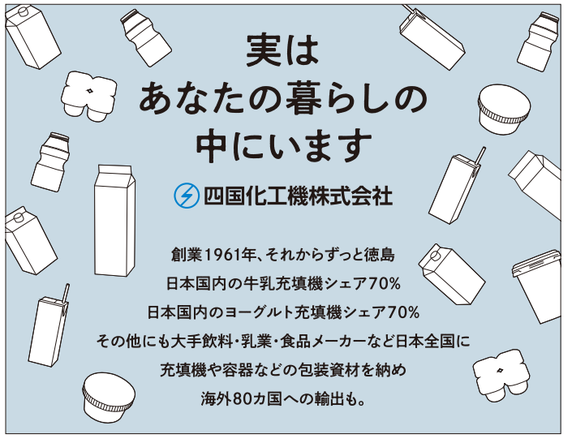
この秋、必見！あざやかな写楽！

2026年10月3日 土 ～10月12日 月・祝

場所・四国大学交流プラザ 3Fキャンパスギャラリー（徳島駅前ポッポ街西）

開場・午前10時～午後5時

入場無料



暮らしを支える安心保障
都道府県民共済グループ
徳島県民共済
☎088(624)1002(代) 【営業時間】9:00～17:00 【定 休 日】土・日・祝日
共済取扱団体／徳島県認可 徳島県民共済生活協同組合
〒770-0832 徳島市寺島本町東3-12-6 徳島駅前濱口ビル2F
この共済は生協法に基づき厚生労働省の認可を受けた事業で、
ご加入者の暮らしの安心を守ることを使命としています。

東洲斎写楽 浮世絵［全作品・復刻版］展
四国大学 デジ絵コン優秀作品展

主催＝NPO法人写楽の会、四国大学

助成＝公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団、
公益社団法人徳島新聞社会文化財団、

協賛＝社会医療法人川島会、株式会社ボン・アーム

後援＝徳島県、徳島市、徳島市教育委員会、
一般社団法人徳島新聞社、四国放送株式会社、
ケーブルテレビ徳島株式会社、
株式会社エフエム徳島

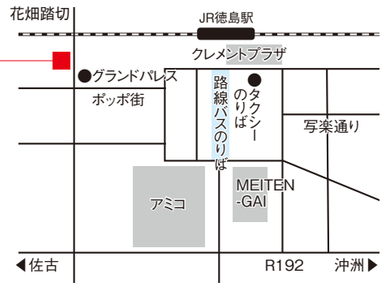
協力＝カフェ・ド・クイーンズベリー、アダチ版画研究所

四国大学交流プラザ
〒770-0831徳島県徳島市寺島本町西2丁目35-8
Tel.088-602-4858

NPO法人 写楽の会
〒770-0831徳島県徳島市
寺島本町西1丁目
ポッポ街2F 丁字堂内
email sharakunokai@gmai.com
事務局／有吉栄治郎080-3926-5807

Facebook「写楽の会」　X「東洲斎写楽」

四国大学交流プラザ



アダチ版画研究所が制作した写楽の浮世絵、全作品の復刻版

今回の「写楽浮世絵[全作品・復刻版]展」は、徳島市内で『カフェ・ド・クイーンズベリー』を経営されている松下貢治さん所有の『写楽浮世絵復刻版全集』を展示するものです。これは、日本でトップの浮世絵工房兼版元である「アダチ版画研究所」（1928年創業）が制作したもので、松下さんは昭和60年ごろに当時の徳島そごうから入手。ご厚意から今回の展示となりました。復刻版だからこそ、どの浮世絵もとても色あざやか。江戸時代の浮世絵芸術がよみがえります。

東洲斎写楽は阿波侯お抱えの能役者斎藤十郎兵衛

寛政6年（1794年）、江戸のメディア王といわれた蔦屋重三郎のプロデュースで華々しくデビューした絵師、東洲斎写楽。その正体は長らく謎でしたが、さまざまな研究や「写楽の会」の調査などで、「阿波侯お抱えの能役者、斎藤十郎兵衛」であることが判明。あまりに個性的な天才絵師の写楽は、徳島とゆかりの深い能役者だったのです。

活動はわずか10カ月間 140点余りの写楽作品は大きく4期に大別

第一期 寛政6年5月

第一期は、寛政6年（1794年）5月に上演された歌舞伎を題材にして、彗星のごとく突如出版されたデビュー作です。

その年、江戸三座と呼ばれる本櫓（中村座、市村座、森田座）すべてが休座となっており、控え櫓三座（都座、桐座、河原崎座）で上演された役者たちを描いた大首絵（おおくびえ）28点が一挙に公開されました。

その過激でリアルな似顔絵は当時の江戸で大きな話題を呼びました。

第二期 寛政6年7月～8月頃

第二期は、デビューから2カ月後。上演されている歌舞伎を題材に38点の役者絵を発表。

第一期のデフォルメされた強烈な顔のクローズアップ（大首絵）から画風を大きく変え、細判の作品が多数を占めています。よりリアルで自然な人物描写をした全身像が多く、歌舞伎の舞台の雰囲気や人物の繊細な心理を描き出しました。

第三期 寛政6年11月～閏（うるう）11月頃

11月は歌舞伎の一年の始まりで顔見世興行が行われ、それを主に題材にして58点が制作されました。第二期に引き続き47点が細判で全身像が多いのですが、小道具や背景も描き込まれるようになります。

顔見世興行の役者絵は売り上げが良いのが通例でしたが、残存数をみる限り、第三期の写楽絵の売れゆきは芳しくなかったようです。

第四期 寛政7年正月

寛政7年（1795年）正月の新春興行に合わせて10点の作品が制作されました。

細判全身図の背景は、第三期の作品に比べ舞台の様子が詳細かつ説明的に描かれています。

この作品群をもって、10カ月という短い期間の写楽絵の出版は終了となりました。

その他の作品

あまり知られていませんが、写楽は役者絵以外にも数種類の絵を手掛けています。

寛政6年（1794年）11月と翌年正月の江戸大相撲の興行を取材した「大童山土俵入（だいどうざんどひょういり）」などの「相撲絵（すもうえ）」のほか、亡くなった人気歌舞伎役者を題材にした「追善絵（ついぜんえ）」、歴史上の有名武将を描いた「武者絵（むしゃえ）」、正月用のめでたい飾りとした「恵比寿絵（えびすえ）」があります。

四国大学デジ絵コン ～全国高校生塗り絵コンテスト～ 優秀作品展

四国大学が全国の高校生を対象に毎年おこなっている「デジ絵コン（デジタル塗り絵コンテスト）」。2026年で第12回となるこのコンテストでは、ここ数年は伝統文化と現代デザイン教育を融合した新しい取り組みとして、東洲斎写楽の作品を元絵に、高校生に自由に描いてもらっています。